

百万一心、未来へつなぐ安芸高田市



あきたかた

議会だより



おもな内容

6月定例会 2~3
常任委員会報告 4~7
アンケート 9~12
一般質問 13~17

吉田町「一心祭り」

第90号

2026(令和8)年8月15日発行



アンケートにご協力ください
詳細は9ページへ



安芸高田市
市議会HP



定例会
YouTube

写真提供：一心祭り実行委員会

安芸高田市の こんなことが決まりました！

会期：19日間

議案等の状況

○予算決算常任委員会へ付託

「令和8年度一般会計補正予算」…など3件

○同意

「公平委員会委員の選任の同意について」
増田京一さん（甲田町）

○総務文教常任委員会へ付託

「まち・ひと・しごと創生基金条例の一部を改正する条例」…など2件

○承認

「専決処分した事件の承認について【令和7年度一般会計補正予算】」…など3件

○産業厚生常任委員会へ付託

「附属機関設置条例及び特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」

○発議

「地方財政の充実・強化に関する意見書について」
「核兵器禁止条約第1回再検討会議へのオブザーバー参加を求める意見書について」

○その他の議案

「印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例」…など3件



6/11 本会議



6/16 本会議

Pick up① 子どもたちの教育環境が整備されます

向原小学校では、建物の老朽化が進んでいることから、安心して快適に学べる教育環境を整えるため、また、各小中学校では電子黒板の老朽化や修理サポート終了に伴い、機器を更新し授業の質を維持・向上します。

○議案第42号「工事請負契約の締結について（向原小学校大規模改修工事）」

主な改修内容：断熱性を高めるためのガラス断熱コーティング、教室のフローリング改修、外壁の塗装、給排水設備の改修、LED照明への更新など



築48年の向原小学校校舎

○議案第46号「財産の取得について（小中学校用電子黒板等購入）」

購入内容：小中学校用電子黒板等の更新（電子黒板56台・書画カメラ59台）

Pick up② 令和8年度一般会計補正予算が可決されました

P7

今回の補正予算（議案第43号）は、令和8年度一般会計で8,469万3千円を追加し、予算総額を222億4,569万3千円とするものです。主な目的は、地域資源を活かす取組の推進や、生活に関わる公共施設・道路などの維持管理を進めることです。

👉 注目ポイント 主な補正内容

- 旧田んぼアート公園予定地や道の駅三矢の里あきたかたなどを含む関係人口の増加を狙った一体的な利活用に向けた官民連携手法の検討・調査
- 神楽門前湯治村の観光施設DX推進
- 市道路線の維持管理 など



神楽門前湯治村 神楽ドーム

Pick up③ 本市議会から国へ、2件の意見書を提出しました

計8名の議員が提出者・賛同者となった2件の意見書（発議第4号・発議第5号）が全会一致で可決されました。

○発議第4号「地方財政の充実・強化に関する意見書について」 提出者：穴戸／賛同者：山本
 少子高齢化やDX・脱炭素、物価高、災害対応等で財政需要が増大し、人員不足も深刻化していることを踏まえ、社会保障経費の拡充と人材確保への財政支援を求める。さらに、地方交付税の法定率引上げ等により、臨時財政対策債への依存を減らし、自律的な財政確立を求めるもの **可決**

○発議第5号「核兵器禁止条約第1回再検討会議へのオブザーバー参加を求める意見書について」
 提出者：大下／賛同者：熊高(昌)、南澤、山根、児玉、金行
 核兵器禁止条約は核の開発・使用・威嚇を禁じる国際条約であり、唯一の被爆国である日本には核廃絶を訴える責務がある。11月の第1回再検討会議へのオブザーバー参加は、日本の意思を示す重要な一歩である。よって、日本政府に対し、核兵器禁止条約第1回再検討会議へオブザーバーとして参加し、核兵器廃絶に向けた国際的議論に積極的に関与することを強く求めるもの **可決**

■賛成討論：南澤

本市は2005年に非核平和都市宣言を行っており、本意見書はその精神に合致するものである。条約への署名・批准という最終目標だけでなく、まずはオブザーバーとして会議に参加するという核廃絶への関与を示す最低限の行動を求め、全国の他自治体とともに本市議会も声を上げることで、政府を動かす一端を担えと信じ、賛成討論とする。



6/29 本会議

賛 否 表

全員賛成の議案 ※議長を除く

令和8年第2回 定例会（6月11日～6月29日）

同意	第3号	公平委員会委員の選任の同意について	議案	第42号	工事請負契約の締結について (向原小学校大規模改修工事)
承認	第2号	専決処分した事件の承認について 【令和7年度一般会計補正予算（第11号）】	議案	第43号	令和8年度一般会計補正予算（第1号）
承認	第3号	専決処分した事件の承認について 【税条例の一部を改正する条例】	議案	第44号	令和8年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
承認	第4号	専決処分した事件の承認について 【国民健康保険税条例の一部を改正する条例】	議案	第45号	令和8年度介護保険特別会計補正予算（第1号）
議案	第38号	まち・ひと・しごと創生基金条例の一部を改正する条例	議案	第46号	財産の取得について (小中学校用電子黒板等購入)
議案	第39号	印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	発議	第4号	地方財政の充実・強化に関する意見書について
議案	第40号	附属機関設置条例及び特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	発議	第5号	核兵器禁止条約第1回再検討会議へのオブザーバー参加を求める意見書について
議案	第41号	社会体育施設等設置及び管理条例の一部を改正する条例			

■議案の審査	○まち・ひと・しごと創生基金条例の一部を改正する条例	他1件
■審査した陳情	なし	
■所管事務調査	○行財政改革の取組について ○DX推進計画の実効性確保に向けた庁内体制及び業務改善について ○公共交通再編について ○お太助フォンの端末更新について	
■報告事項	○2025年度ふるさと納税の実績について	他1件



6/23
総務文教
常任委員会

【議案の審査】

○議案第38号 「まち・ひと・しごと創生基金条例の一部を改正する条例」

新たな地域再生計画の認定に伴い、計画名称を「第2期安芸高田市の未来につなげるプロジェクト」へ変更し、基金を充当できる事業を以下の4事業に刷新するべく、条例の一部を改正するもの

可決

〈変更後の基金充当事業項目〉

- ①若者に選ばれるまちづくり事業
- ②第2のふるさとづくり事業
- ③帰ってきたいくなる学びのまちづくり事業
- ④自助・互助・共助・公助のまちづくり事業

■質疑：石飛

基金を充当する事業を改めることで、新たに追加・拡大される事業はあるか。

■答弁：政策企画課長

基本的に従来の事業を引き継ぐ考えであり、現時点で特定の新規事業を追加するものではない。第3次総合計画に掲げる重点プロジェクトを網羅できるよう整理している。



所管事務調査

- ◆行財政改革の取組について
- ◆DX推進計画の実効性確保に向けた庁内体制及び業務改善について

〈概要〉委員会では、副市長をトップとする庁内横断的な体制により、全16項目の進捗管理、取組内容や目標値の見直し、課題への対応が行われていることを確認した。

執行部からの報告を踏まえ、行財政改革における初年度の進捗管理や年度末の見直し状況を確認するために実施してきた「行財政改革の取組について」の所管事務調査は、調査を終了することとした。

一方で、行政手続のオンライン化・業務改善・データ活用・職員のデジタル人材育成などを実効性のある取組につなげるため、新たに「DX推進計画の実効性確保に向けた庁内体制及び業務改善について」の調査を開始し、閉会中も継続して調査することとした。

■質疑：児玉

業務改善や行政コスト削減の効果を確認するために、各課の業務量や負担などについて、現状をどのように把握していくのか。

■答弁：企画部次長

DX関連事業について、KPI（重要業績評価指標）や投資額を改めて確認し、指標の妥当性を検証し、あわせて、職員が負担を感じている業務などから優先順位を付ける。いわゆるBPR（業務の流れを見直す考え方）により、業務の現状とあるべき姿を分析していく。

所管事務調査 ◆公共交通再編について

〈概要〉市は、お太助ワゴン・お太助バスの利用者、吉田・向原高等学校の生徒を対象に実施したアンケート結果を踏まえ、全域での公共交通再編を見送り、当面は現行の運行体系を維持する方針を示した。

利用者アンケートは、2025年の利用回数上位400人を対象に行われ、264人から回答があった。再編に否定的な利用者からは、乗り継ぎによる歩行や時間管理の負担、通院や買い物への影響、家族等による送迎に頼れない状況などが示された。

市からは、再編案と利用実態に乖離があり、一部の利用者が公共交通を利用しにくくなるおそれがあることを見送りの理由の一つに挙げ、中学校統合の時期や内容が具体化してきたことから、2026年度中に再編を実施するよりも、今後の中学校統合を見据えた交通体系として改めて検討する方が適切であるとの説明があった。

本委員会では、利用者アンケートの結果・再編見送りの理由・住民意見の把握・予算への影響・次期交通計画の進め方等について十分に確認できたと判断し、本件の所管事務調査を終了することとした。

■質疑：益田

今回の再編案では、住民への周知後に利用実態との乖離が明らかになった。次の再編案では、素案の段階からより早く、より丁寧に住民説明や意見聴取を行う必要があるのではないか。

■答弁：政策企画課長

2027年度以降の再編案作成にあたり、アンケートや住民から意見を聴く機会などを設けつつ、持続可能な交通体系や運転手不足も踏まえ、交通事業者と協議しながら進めたい。

所管事務調査 ◆お太助フォンの端末更新について

〈概要〉2027年3月末で現在のお太助フォンが使用できなくなることに伴い、新たな端末への更新について調査を行った。

また、今後の更新に向けたスケジュールが示されたが、最終的な設置計画については、実際の申し込みの状況を見ながら、今後立案予定との報告がなされた。

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
市民向け説明会		市民向け説明会									
集落支援員向け説明会	●										
申込受付期間		早期申込受付期間		申込受付期間							
サービスリリース				●							
専用タブレット設置期間				専用タブレット設置期間							
設定内容通知書送付 (二次元コード、撤去案内等)				設定内容通知書送付 (二次元コード、撤去案内等)							

新サービスへ完全移行

委員会では、特別価格終了後の端末価格、申込状況を踏まえた最終的な設置計画、旧端末の返却・回収対応など、なおも確認すべき事項が残ることから、閉会中も調査を継続することとした。

※機器の選び方、価格、補助制度、撤去費用、申込方法などの詳細は、市ホームページで確認できます。



- 議案の審査
- 附属機関設置条例及び特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 審査した陳情
- なし
- 所管事務調査
- なし
- 報告事項
- 有害鳥獣対策について
- 他2件



6/24
産業厚生常任委員会

【議案の審査】

○議案第40号 「附属機関設置条例及び特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」

観光振興計画の策定に伴い、進捗状況を調査・審議するための新たな附属機関を設置するもの。また、附属機関の設置に伴い、非常勤の職員を追加するため、所要の改正を行うもの。委員は学識経験者と一般の二区分とし、それぞれの報酬額は日額13,000円と7,000円とするもの

可決

■質疑：秋田

学識経験者1名、一般8名の委員会構成で、人選はこれからということだが、前回の12名構成からはどのあたりが減ったのか。

■答弁：商工観光課長

前回の委員には市役所職員が含まれている。この度は、報酬の発生する学識経験者1名及び一般8名までに加え、報酬の発生しない市役所職員が数名加わる形を計画している。

報告事項

◆有害鳥獣対策について

農作物の被害軽減に向け、国庫補助事業や市独自の補助事業を活用した多様な対策実績が報告された

項目	2025年度の実績・取組内容	2026年度以降の計画・方向性
被害と捕獲実績	農作物被害額：2,119万円 (シカ790万円、イノシシ1,329万円) 捕獲頭数：シカ4,127頭、イノシシ716頭 対策実施隊(65名)が213回出動し地域で活動	引き続き計画的な有害鳥獣捕獲を実施
防護柵・檻の設置	国補助：5地区にワイヤーメッシュ柵を整備(11,656m) 市補助：侵入防護柵17件(19,235m)、捕獲檻3件を助成	2025年度と同様の防護柵・捕獲檻への補助事業を計画
地域連携・環境整備	向原町戸島地区でサルのGPSデータを活用した講習会を2回開催 実施隊を対象にツキノワグマ・サル対策等の技術研修会を3回開催 出没抑制のため、不要な柿・栗の木を111本伐採(39件申請)	「広島県鳥獣対策等地域支援機構(tegos)」と連携し、専従職員(FA)による実態把握や住民への現地指導を推進
ジビエ・ペットフード	ジビエ施設売上高：1,053万5,194円 施設搬入頭数：シカ548頭(イノシシ0頭)	ブランド強化と課題解決 ①民間委託による施設運営の検討 ②解体処理・衛生管理の技術指導 ③商品開発や加工品生産の支援

ジビエ振興の構築

- 整備計画の本格始動：有害鳥獣捕獲班との最終調整をし、新施設の整備を推進する
- 3カ年のロードマップ：2026年度から2028年度にかけて事業者の選定及び募集、詳細設計や工事、供用開始を目指す

報告事項 ◆緊急銃猟について

クマ等が日常生活圏に出没した際の緊急銃猟に備え、実施要件や捕獲体制、関係部局の役割が報告された

項目	実施要件・体制・各部局の役割
制度の目的	クマ等が日常生活圏（住居・広場等）に出没した際、住民の安全を最優先に銃猟による迅速な捕獲を行う
実施の4要件	①日常生活圏への侵入 ②人命への危機 ③銃猟以外の捕獲が困難 ④住民避難等で弾丸が人に到達するおそれがないこと
判断・現場指揮	市長（産業部長へ権限委任予定）が、状況を見極めて緊急銃猟の実施を判断・指示する
捕獲体制・選定基準	銃猟に精通しており、視野が広く、状況判断が的確で、胆力があり精細、年2～3回程度の射場での訓練参加可能な候補者3名を選定（承諾後、委嘱状交付）
住民避難・道路規制	【警察・消防・商工観光課等】広報車等での外出禁止指示、住民の避難誘導 【警察・農林水産課】区域内の通行禁止・制限
広報・原状回復	【秘書広報課】HPでの広報や情報提供、マスコミ対応 【地域営農課】捕獲個体の処分（原状回復）
報酬および補償	出猟報酬：1回30,000円。万一の事故発生時、物損は「保険」、人身は「国家賠償法」で市が補償する



○議案第43号 令和8年度一般会計補正予算（第1号）

補正額 **8,469万3千円**
（予算総額） 222億4,569万3千円

可決



6/12
予算決算常任委員会

補正の主な内容

歳入歳出それぞれ8,469万3千円を追加し、予算の総額を222億4,569万3千円とするもので、主なものは、最高裁判決を踏まえた法改正による生活保護費の増額、旧田んぼアート公園予定地等の「官民連携手法による検討・調査業務」の委託料の追加、神楽門前湯治村の観光施設DX推進、法改正による道路維持管理費の増額、八千代B&G海洋センター改修費補助不採択による工事費の減額など

〈官民連携手法による検討・調査業務〉

旧田んぼアート公園予定地の公園整備や道の駅三矢の里あきたかたに関係人口案内所の開設等により、移住定住などを効果的に推進するため、民間企業との協力が可能かどうか調査するもの

〈法改正による道路維持管理費の増額〉

9月1日から道路のセンターラインのないところや消えたところは速度が30キロに制限されることになり、センターラインが消えたところを引き直すための予算措置を行ったもの

地域懇談会を行いました

詳細は、次号以降に掲載いたします。

皆さま、猛暑の中ご参加くださり誠にありがとうございました。



懇談会の様子

表 彰

中国市議会議長会 議員特別表彰

議員28年以上 熊 高 昌 三

議員24年以上 秋 田 雅 朝



みんなでつくる



「あきたかた議会だより」 アンケート

いつも「あきたかた議会だより」をご覧ください、誠にありがとうございます。

今回、節目の第90号の発行を迎えるにあたり、議会だよりの改善と実態把握を目的にアンケートを実施いたします。具体的な目的としては次の通りです。

- ・読みやすさや内容の改善
- ・限られた紙面で、より分かりやすく伝えるための改善
- ・紙媒体とデジタル媒体の最適な組み合わせの把握
- ・世代による受け止め方の違いの把握

今回のアンケート結果に基づき、「あきたかた議会だより」紙面をアップデートし、市民の皆さまに親しまれ、読みやすい広報誌を目指してまいります。概ね3分程度でお答えいただけますので、ぜひ皆さまのご協力をお願いいたします。

安芸高田市議会 議会広報特別委員会

■回答方法・提出先について

- ・回答方法については紙面の提出、またはQRコードの読み取りにより回答できます。
- ・紙面で回答される場合は、こちらの用紙もしくはご自身でコピーしたものに直接ご記入いただき、市役所本庁第2庁舎3階（議会事務局）および各支所に設置している回収箱へご提出ください。
- ・お一人につき1回の回答にご協力をお願いいたします。

■回答期限・結果公表について

- ・2026年9月25日（金）まで
- ・ご協力頂いたアンケートは集計を行い、「あきたかた議会だより第91号」にて、結果を公表する予定です。



アンケートの回答はこちらから



【1】あなたについて

Q1. 年代を教えてください。

- ☐ 19歳以下 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代
☐ 70歳以上

Q2. お住まいの地域を教えてください。

- ☐ 吉田 ☐ 八千代 ☐ 美土里 ☐ 高宮 ☐ 甲田 ☐ 向原 ☐ 市外

Q3. スマホやLINEなどの利用状況を教えてください。

- ☐ 毎日使う ☐ 時々使う ☐ 家族に見せてもらう ☐ 使っていない

【2】議会だよりの読まれ方について

Q4. 議会だよりをどの程度読んでいますか。

- ☐ 毎号ほぼ読む ☐ 興味のある記事だけ読む ☐ パラパラ見る程度
☐ ほとんど読まない

Q5. 主にどこで入手していますか。

- ☐ 自治会配布・郵送 ☐ 公共施設 ☐ 市HP ☐ 市公式LINE
☐ 家族が持ってくる ☐ その他

Q6. 読むきっかけ・よく読むページは何ですか。（上位3つまで）

- ☐ 表紙・裏面 ☐ トピックページ ☐ 常任委員会報告 ☐ 賛否表
☐ 一般質問 ☐ 議会改革 ☐ 地域懇談会（市民の声）
☐ 議会のうごき ☐ 政務活動費報告 ☐ 関心のあるテーマ
☐ 編集後記 ☐ 特にない

【3】読みやすさ・内容評価について

Q7. 読みやすさについて教えてください。

- ☐ とても読みやすい ☐ 読みやすい ☐ どちらともいえない ☐ 読みにくい

Q 8. 読みにくいと感じる点があれば理由を教えてください。（複数回答可）

- ☐ 専門用語が多い ☐ カタカナ語が多い ☐ 説明が不足している
☐ レイアウトが見づらい ☐ 文章量が多い ☐ 特にない

Q 9. 記事内容の理解しやすさについて教えてください。

- ☐ とても理解しやすい ☐ 理解しやすい ☐ どちらともいえない
☐ 理解しにくい

【4】紙面デザイン・構成について

Q10. 表紙・裏面（地域話題・バランス・内容等）について教えてください。

- ☐ 良い ☐ どちらともいえない ☐ 改善してほしい

Q11. 紙面デザインで改善してほしい点を教えてください。（複数回答可）

- ☐ 文字を大きく ☐ 行間を広く ☐ 色使い（見やすい配色に）
☐ 写真を増やす ☐ 図表を増やす ☐ 特にない

【5】QRコードの利用について

Q12. 議会だより掲載のQRコードを読んでYouTube動画を視聴しますか。

- ☐ よく利用して視聴する ☐ たまに利用して視聴する
☐ あまり使っていない ☐ QRコードの読み方を知らない
☐ スマホを使わないから利用しない

【6】知りたい内容について

Q13. 特に読みたい内容を教えてください。（複数回答可）

- ☐ 本会議の決定事項 ☐ 委員会活動 ☐ 予算・決算
☐ 賛否表・理由 ☐ 討論の要点 ☐ 一般質問
☐ 一般質問後の進捗 ☐ 議会の仕組み ☐ 議員の活動状況
☐ 政務活動費報告 ☐ 地域取材情報 ☐ その他 ☐ 特にない

【7】 議会情報の取得について

Q14. 議会情報をどの媒体で受け取りたいですか。

(複数回答可)

- ☐ 紙 ☐ 市議会HP
☐ 市公式LINE ☐ その他SNS

Q15. 市公式LINEで受け取りたい情報を教えてください。

(複数回答可)

- ☐ 議会だより ☐ 本会議・委員会日程
☐ 一般質問 ☐ 議案 ☐ 賛否表
☐ 動画配信のお知らせ ☐ その他



【8】 自由記述

Q16. 議会だより、及び議会広報特別委員会へのご意見・ご要望・改善点などをご記入ください。

(記述欄)

ご協力、誠にありがとうございました。

14人が市政を問う

一般質問

一般質問をYouTubeで
ご覧いただけます



山本
数博



この項目について質問しました

- ① 中学校統合に伴う目指す学校のあり方について
- ② 甲立駅の切符販売について
- ③ 大土川の河川改修について



廃校予定の
甲田中学校

山本 2031年4月開校予定の統合中学校について、保護者が希望を持ち、待ち望めるような学校にするため、どのような学校を考えているのか。

市長 学習環境整備にとどまらず、確かな学力の向上、地域の協力を得た部活動の充実、地域とともにある学校づくりを、ソフト・ハード両面から進める。

山本 具体的にどういう中学校になるのかを聞きたい。自分の考えは「文武両道」であり、勉強もスポーツも文化活動もできる学校である。高校や大学、社会人まで繋がるような人材を育てる中学校を目指すべきでは

ないか。

市長 文武両道は追う必要を感じる。市内では中学生から高いレベルのスポーツ選手が生まれているが、市立中学校で全国で活躍できる子どもたちを育てることも一つの目的であり目指す方向であると思う。

甲立駅の切符販売について

山本 甲立駅の自動券売機の設置はいつになるのか。

市長 JR西日本から8月上旬になると聞いている。

熊高
慎二



この項目について質問しました

- ① 道路の維持修繕管理について
- ② 幼児向けの電子図書館の整備について
- ③ 旧田んぼアート跡地の計画状況について



防災機能を
兼ね備えた
公園の予定地

熊高 社会資本維持における地域インフラ群マネジメントの活用は。

市長 他自治体の事例の情報収集に努め、慎重に見極める。

熊高 デジタル技術を活用した路面診断の計画は。

市長 より高度で効果的な点検を目指していきたい。

幼児向けの電子図書館の整備について

熊高 多忙な子育て世代にも有効な手段だと思えるが。

教育長 現時点で、本市単独での電子図書システムの導入は考えていない。

熊高 幼児向け絵本特化型の電子図書館は、強力なブランディングになるのでは。

教育長 初期投資などコストが高いと感じている。

熊高 この取組は将来の学力向上にもつながると考えるが。

教育長 子どもたちにとって最適な読書環境の整備を進めていきたい。

旧田んぼアート跡地の計画状況について

熊高 現在の進捗状況は。

市長 内閣府の補助事業に採択された。整備計画の具体化や官民連携の手法を模索していく。

熊高 開園目標は。

市長 2030年の開園を予定している。

新田
和明



この項目について質問しました

- ①DX推進計画について
- ②「子どもの権利条例」の制定について



DXによる
市民サービスの
向上が期待される
“窓口業務”

新田 DXの実行内容は。

市長 2026年度は、利便性向上のため「書かない窓口」の導入を進めている。

新田 住民に対するデジタル利用のフォロー体制は。

市長 身近で体験することが必要。お太助フォンについては各集会所単位に出向いて説明会を行う。

「子どもの権利条例」の制定について

新田 「人的リスク対応能力の強化」や「国際基準のいじめ防止」の位置付けは。

市長 重要であることは認識している。現状や課題、事例等踏まえながら最適な対応方法を模索する。

新田 条例に明記することで実効性を担保できるのでは。

市長 意見を参考にしつつ制定に向け取り組む。

新田 「いじめやからかいは容認しない、気になる事案は全て校長に報告」のルール化は。

教育長 管理職に報告する仕組みがある。

新田 性暴力事案は、学校や教育委員会で判断するのか。

教育長 経験と知見を有する外部機関の判断を適切に活用する必要があり、この方針で取り組んでいる。

金行
哲昭



この項目について質問しました

- ①公共施設について
- ②ふれあいセンターこうだについて
- ③旧小田東保育所について



有効利用が
期待される
「ふれあいセン
ターこうだ」

金行 公共施設廃止スケジュールの達成率は。

市長 2024年度末時点で目標の30%に対し14.8%である。2025年度末時点は決算報告の際に公表したい。

金行 目標達成するには何が問題なのか。

市長 公共施設建設当時の歴史や、利用者の思いなど複雑にある。丁寧で誠実な説明を心がけ、目標達成に向け推進したい。

ふれあいセンターこうだについて

金行 今後、施設の維持管理をどのように考えているのか。

市長 有効利用と維持管理ができる譲渡先の検討を

行っている。譲渡先が決まるまで市が責任をもって管理したい。

金行 地域と協議し、民間提案制度による企業誘致は。

市長 企業誘致も今後の利活用の選択肢の一つと考えている。

旧小田東保育所について

金行 保育所の解体は。

市長 2026年8月より解体工事に着手する予定。

金行 解体後の管理体制は。

市長 国土交通省三次河川国道事務所吉田流域治水出張所の移転先として活用いただく予定。

穴戸
邦夫



この項目について質問しました

- ①防災啓発について
- ②防災教育について



自主防災組
織の防災・
消火訓練
(甲田町浅
塚)

穴戸 私達一人一人が日頃から防災意識を持ち、高めるための市民に対する啓発をどのように考え、取り組むのか。

市長 広報誌やホームページ、SNSによる啓発や情報発信のほか、防災講演会、高等学校等での防災研修などを行っている。さらに、11月19日を「備蓄の日」と定め、備蓄の重要性を啓発している。また、市民の防災意識は地域や環境により大きく異なると感じており、広く一般的な啓発に加え、地域や自主防災組織、各種団体などの個々の状況に応じた研修や訓練に力を入れていく。

防災教育について

穴戸 学校における具体的な取組は。

教育長 地域で起こり得る災害を想定した避難方法の学習、あるいは地震や火事などを想定した避難訓練を年2回以上実施している。また、11月5日を中心に一斉地震防災訓練を実施している。

佐々木智之



この項目について質問しました

①安芸高田市のごみ処理について



現在運用されている燃えるごみの袋

佐々木 環境基本計画における啓発や議事録の公開についての方針は。

市民部長 改定する中において周知を行っていきたい。

佐々木 2025年に可燃ごみ袋がリニューアルした。啓発に取り組まれたが、もう少し分別を進める考えは。

市長 これまで燃えるごみとして扱われていたリサイクルマークのない製品や、ハンガーなどのプラスチック類を分別収集の対象に拡大することや、衣類の回収も検討していきたい。

佐々木 栃木県芳賀郡茂木町の取組は単なるごみ減量にとどまらず、地域コミュニティの活性化や資源循環

の観点がある。地域に広げる考えは。

市長 本市においても、地域資源を生かした「地域密着型の循環型社会」の構築に向けて、まずは地域資源の実態把握や仕組みの在り方について調査・研究を進めていきたい。

佐々木 環境省の「使用済紙おむつの再生利用等に関する自治体伴走支援事業」への取組は。

市長 引き続き情報収集をしていきたい。

秋田 雅朝



この項目について質問しました

①今後のまちづくりの視点について



コンシェルジュの配置が予定されている道の駅三矢の里あきたかた

秋田 第3次総合計画では、関係人口の増加に向けた施策として、「安芸高田市のファンの拡大」があるが、その取組について所見は。

市長 伝統芸能・スポーツの応援活動・交流イベント等を通じて、多様な世代の人が地域に親しみを感じられる機会を創出したい。

秋田 総合計画の重点プロジェクト「第2のふるさとづくり」について、その一つに関係人口があるが、実現に向けての想定は。

市長 道の駅等の拠点施設を活用した「関係人口相談窓口」を整備し、地域と人とのつながりや縁を生み出

す新しい「場」を作ること想定している。

秋田 さまざまな相談に対応できる体制として、道の駅に「コンシェルジュを配置」する計画について、今後の見解は。

市長 この取組は、市内外の人々が地域と継続して関わりを持つ関係人口の創出拠点とすることを目的に、国の事業を活用し、道の駅及び旧田んぼアート公園予定地を一体的に整備する調査事業に沿って進めていく予定。

児玉 史則



この項目について質問しました

①中学校統合計画の今後について
②広島県立向原高等学校の再編検討について



広島県立向原高等学校

児玉 中東紛争による原材料費等への課題があるが開校目標に変わりないか。

市長 今後の見通しなど精査し改めて具体的スケジュールを示す。

児玉 2025年度出生数は66人。規模の見直しが必要では。

市長 少子化の現実、財政負担、周辺環境等総合的に見つめた結果、小学校の移転は取りやめる。

児玉 505人の規模で開校するが、200人程の規模へ順次縮小の対応は。

市長 教室を柔軟に利用できるような工夫をに対応し

ていきたい。

児玉 大型事業を行う際には将来負担額を明確にし投資規模の判断を行うべきで説明責任が必要では。

市長 概算事業費を確定し、市民の皆様へ説明する。

広島県立向原高等学校の再編検討について

児玉 県教委が示す3案に対する本市の判断は。

市長 容易に選択できない。今後の県の動向、地域の持続可能性など総合的に判断していく。

児玉 県教委が示す中高学園構想の検討余地は。

市長 現在の中学校統合を見直す気持ちはない。

南澤
克彦



この項目について質問しました

- ①道の駅「三矢の里あきたかた」について
- ②行政区の見直しについて



信号機設置が
待たれる道の駅
の横断歩道

南澤 駐車場警備費と第2駐車場賃料の現状は。

市長 2025年の警備費は約260万円、第2駐車場賃料は年間約90万円。

南澤 国道54号を横断する第2駐車場への信号機設置の進捗は。

市長 警察と協議したが横断者数が少ない等の理由で現時点では困難。継続協議する。

南澤 関係人口コンシェルジュのスケジュールは。

企画部長 2029年4月の配置を目標としている。

行政区の見直しについて

南澤 世帯数1桁台の行政区が67区ある。区割り見

直しが必要では。

市長 中長期的視点から見直しが必要。住民の意思を尊重し慎重に進める。

南澤 行政から積極的に相談を投げかけるべきでは。

市長 広報等を通じ、見直し相談に応じる旨を発信していく。

南澤 行政嘱託員の成り手不足も課題だ。広報誌もデジタル版をご覧の方もいらっしゃる。選択制にしてはどうか。

市長 デジタル版選択制度は有効。デジタル化と並行して制度見直しを進めたい。

浅枝
久美子



この項目について質問しました

- ①鳥獣害対策について
- ②地域資源の有効活用について



落ち葉（地域資源）が3m以上も積みあがっていた栃木県芳賀郡茂木町堆肥センター

浅枝 森林資源、農業廃棄物の回収において、動機づけの組み込みを本市の環境政策に強く求めるが。

市長 横断的にどのようなことが可能であるかを、先進地の事例を含め、情報整理する。

浅枝 自然体験と一体となった仕組みづくりを本市のコミュニティの維持・再生にシステムとして組み込むべきであると考えているが。

市長 農村関係人口の拡大に向けた取組を進めていくことが重要。

地域資源の有効活用について

浅枝 本市にある堆肥センターの運営方法を検討する

余地はあるか。

市長 考える余地はある。

浅枝 便利さを追求するAIの時短世界から一步踏み出し、あえて「少しの不便」を味わう生活が今求められている。本市の豊かな自然に目を向け、それを活かした循環型社会を新しいまちの魅力にすべきと考えるが。

市長 「少しの不便」は心にゆとりをもたらすと思う。行政として利便性も確保しつつ、本市らしい時間の流れや豊かさを求めるまちづくりを進める。

熊高
昌二



この項目について質問しました

- ①経済対策について



農産物のブランド化から道の駅での販売まで一元化されている栃木県芳賀郡茂木町の高品質堆肥

熊高 農業を中心とした一次産業をどんなふうに関係活性化につなげていくのか全体像が明確に見えてこない。堆肥センターひとつとっても、堆肥をつくるには酪農からのふん尿が要る。ふん尿自体がなくなれば堆肥さえもできなくなる。多様な視角がないと元も子もなくなってしまうが、その辺の視点はお持ちか。

市長 酪農家が少なくなっているため、酪農家の支援も同時にしていかなければいけない。毎朝、堆肥を積んだトラックが堆肥センターのほうに入っていく光景が続けられるように施策を打っていきたい。

熊高 萩の大照院から情報を持ってきていただいたのも、市長が自ら足を運んだり情報発信したからだ。動きが双方向に生まれることで活性化のもとになる。市長自らがもっと地域や民間含めて動いていくことが必要ではないか。

市長 トップの発信が必要というのは私も十分認識している。副業型地域活性化起業人の活用も含め、前面に出してやっていきたい。

益田
一磨



この項目について質問しました

- ①不適切飼育猫対策事業について
- ②地域おこし協力隊の活動報告及び支援体制について
- ③SNS運用基盤の強化及び副業型地域活性化起業人の活用について
- ④AI時代を見据えた観光振興計画と都市ブランドの再構築について

益田 動物との共生や給餌者の責任等に対し、市独自の基本方針・実施計画はあるか。啓発の充実や目標設定のためにも、基本方針・実施計画の策定が必要では。

市長 市として個別の取組は積極的に行っているが、独自方針等はないのが現状。策定する、しないを含め、検討。

益田 不適切飼育猫対策事業を含め「人と動物との共生を支える事業」について、ふるさと納税の使途に位置づける考えは。

市長 現在、寄附金の使途には市長が必要と認めた事業もある。鳥獣害対策等を含む広義での事業へ充当も

考慮し、使途への追加を検討対象としたい。

SNS運用基盤の強化及び副業型地域活性化起業人の活用について

益田 専門人材の起用を機に、YouTubeコメント欄の活用を進める考えは。

市長 コメント欄は、市民の方等の意見把握に有効な手段。この7月に自身の任期も折り返すなか、コメント欄を開放し、体制を整えたい。そう遠くない日に開放するので、お楽しみに。



6月に専門人材が登用され、改善の兆しが見られる市公式 YouTube

小松
かすみ



この項目について質問しました

- ①本市の観光振興の現状と今後について
- ②チャレンジ支援と賑わいのまちづくりについて

小松 シビックプライド醸成のために、公共施設に観光大使のポスター掲示により市民への周知を行うことは可能か。

市長 公共施設へのポスター掲示は有効な手段の一つと認識する。観光大使と掲示場所の選定や管理に係る協議を進めていきたい。

小松 向原吉田道路を活用した芸備線向原駅から市内への2次交通整備の検討状況は。

企画部長 JR向原駅を起点とした観光利用の移動手段調査で様々な課題が分かり、このルートでの観光の自動運転計画を一旦断念した。



キッチンカー事業の試行導入を検討している市役所

小松 多くの企業に観光レンタカー事業への参画を促し、民間と連携することに対する所見は。

企画部長 レンタカー事業者と連携が可能なら、新たな利用促進の検討を進めていきたい。

チャレンジ支援と賑わいのまちづくりについて

小松 本市役所の敷地内にキッチンカー専用の駐車場を新設する考えは。

市長 現在、市役所駐車場の一角を活用したキッチンカー事業の試行導入について検討を進めている。

山根
温子



この項目について質問しました

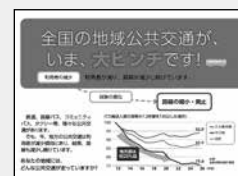
- ①持続可能なまちづくりに向けて

山根 公共交通協議会の委員構成について、2025年の一般質問で、市長は「まもなくある改選に責任を持って検討していきたい」と答弁。新たな委員構成は。

市長 改選により、20名のうち3名の女性委員が就任予定、うち2名はお太助ワゴンを利用する女性を新たに選任。

山根 地域住民の意見の反映について、今後の協議会の方針は。

市長 今後も地域住民の多様な意見を取り入れ、公共交通の再編検討を進める。



出典：国土交通省 中部運輸局
(https://www.twb.mlit.go.jp/chubu/tsukuro/library/pdf/kkk_leaflet.pdf) を加工して作成

山根 若者が運転免許を取り、バス・タクシー業界を就職先とすることは、運転手不足解消につながるが、運転者確保への考えは。

市長 運転手不足は全国的に深刻な課題。地域交通を維持するために若い世代の入職促進は大変重要。

山根 高齢化が進む中、公共交通の利用に慣れ、おでかけが楽しくなるような市の考えは。

市長 地域の商業施設等と連携した情報発信や公共交通の利用者を対象に優待制度の導入など検討。

令和7年度

政務活動費収支報告

条例に基づき、議員の調査研究・活動に要するために必要な経費の一部が交付されます。
本市では月額30,000円が交付されます。

令和7年度政務活動費収支報告一覧表

(単位：円)

	氏 名	収 入	支出額	残 余 金 (返納額)	執行率	支 出 内 訳							
						調 査 研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情 活動費	会議費	資 料 作成費	資 料 購入費
1	益田 一磨	360,000	359,975	25	99.99%	55,770	296,560	—	—	—	—	—	7,645
2	佐々木智之	360,000	360,000	0	100.00%	57,028	258,542	—	—	—	—	—	60,739
3	熊高 慎二	360,000	318,062	41,938	88.35%	55,770	79,288	—	—	41,248	—	—	141,756
4	浅枝久美子	360,000	360,000	0	100.00%	57,102	272,146	—	—	—	—	—	37,200
5	小松かすみ	360,000	317,484	42,516	88.19%	55,770	231,220	—	4,534	—	—	—	25,960
6	南澤 克彦	360,000	225,881	134,119	62.74%	55,770	72,814	—	—	—	—	—	97,297
7	山本 数博	360,000	333,550	26,450	92.65%	55,780	212,950	—	—	64,820	—	—	—
8	新田 和明	360,000	116,208	243,792	32.28%	—	—	—	—	69,408	—	—	46,800
9	山根 温子	360,000	204,274	155,726	56.74%	55,770	72,874	—	—	—	—	—	75,630
10	児玉 史則	360,000	243,934	116,066	67.76%	55,770	103,064	—	—	—	—	—	85,100
11	大下 正幸	360,000	45,600	314,400	12.67%	—	—	—	—	—	—	—	45,600
12	熊高 昌三	360,000	318,136	41,864	88.37%	—	80,394	—	—	—	—	—	237,742
13	穴戸 邦夫	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
14	金行 哲昭	360,000	104,442	255,558	29.01%	55,770	—	—	—	—	—	—	48,672
15	秋田 雅朝	360,000	243,952	116,048	67.76%	—	173,752	—	—	—	—	—	70,200
16	石飛 慶久	360,000	55,770	304,230	15.49%	55,770	—	—	—	—	—	—	—
	合 計	5,400,000	3,607,268	1,792,732	66.80%	616,070	1,853,604	0	4,534	175,476	0	0	980,341

※支出内訳には、自己負担による支出額も含まれます。

【支出費目】

調査研究費…議員が行う市の事務、地方財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費

研 修 費…議員が研修会を開催するために必要な経費及び団体等が開催する研修会の参加に要する経費

広 報 費…議員が行う活動及び市政について市民に報告するために要する経費

広 聴 費…議員が行う住民からの市政及び議員の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費

要請・陳情活動費…議員が要請及び陳情活動を行うために必要な経費

会 議 費…議員が行う各種会議、団体等が開催する意見交換会等各種会議への議員の参加に要する経費

資料作成費…議員が行う活動に必要な資料の作成に要する経費

資料購入費…議員が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費

※すべての支出について、領収書等で確認しています。

※[市ホームページ](#) → [安芸高田市議会](#) のページにも掲載しています。



議会の動き

4月～6月の主な活動状況

4月

3日 議会広報特別委員会
7日 タブレット導入調査
協議会
8日 協議会（総務文教）
15日 協議会（議会広報）
20日 議会運営委員会
全員協議会
議会改革特別委員会
22日 議会広報特別委員会
協議会（議会広報）

5月

8日 協議会（総務文教）
11日 議会運営委員会
12日 議会改革特別委員会
18日 議会広報特別委員会
協議会（議会広報）
20日 全員協議会
協議会（総務文教）

6月

1日 議会運営委員会
3日 議会改革特別委員会
5日 タブレット導入調査協議会
8日 協議会（議会広報）
11日 本会議（開会）
総務文教常任委員会
議会広報特別委員会
12日 予算決算常任委員会
議会改革特別委員会
16日 一般質問
17日 一般質問
18日 協議会（議会広報）
19日 全員協議会
議会運営委員会
協議会（総務文教）
23日 総務文教常任委員会
24日 産業厚生常任委員会
協議会（産業厚生）
29日 本会議（閉会）
協議会（議会広報）

令和8年第3回定例会は 9月上旬から開会を予定しています

※詳細は、お太助フォンやホームページ・
市公式LINEでお知らせいたします。

編集後記

2024年12月から現委員6名で議会だよりの編纂に取り組み、縦書きから横書きへのリニューアルといった紙面の刷新に加え、本市公式LINEによるプッシュ配信を活用し、議会だよりや定例会スケジュール、一般質問通告書などをデジタルでも発信するなど、時代に応じた「議会の見える化」を推進してまいりました。予算削減でページ構成などの見直しを進める中、議会だより第90号という節目を迎えるにあたり、これまでの約2年間の取組のまとめとして、また、皆さまにも紙面づくりに参加していただきたく、アンケートを実施することにいたしました。市民の皆さまの率直なお声をぜひお聞かせください。（小松かすみ）

〈発行責任者〉

議長 石飛 慶久
〈議会広報特別委員会〉

委員長 小松かすみ

副委員長 新田 和明

委員 益田 一磨

佐々木智之

浅枝久美子

山本 数博



練習は、大きな声のあいさつで始まった

指導にあたるのは、過去に市内で中学校の教諭経験のある北村さん。そのときの縁もあり、現在では教え子の子どもが会員にしているとのこと。北村さんはこの教室で「陸上競技に親しみ、楽しさを感じてもらいたい。続けることで競技力が向上し、県大会などの上位の大会に出場できれば嬉しい。そして、自分に自信をもつことが大切。」と話す。

河野さん（中2）は「陸上教室は、参加者が仲良く雰囲気がいい。目標は、1500mで5分40秒台。」と梅雨明けの空の下、練習に真剣だった。溝井さん（小6）は「みんなと走るのが楽しい。今は800mを専門にしているが、長距離種目にも挑戦したい。」と仲間と汗を流していた。同じく黒田さん（小6）は「記録が出ないときやけがをしたときはしんどいけど、みんなと楽しくできるからいい。去年も出場した駅伝大会で記録を更新したい。」と意気込む。



小学生と中学生が一緒に行う基礎練習



丁寧なアドバイスを受ける選手



写真右：指導を行う（左から）陸上競技協会所属の土本さん、北村さん、新田さん



アキタカタTFC

会員募集中！

アキタカタTFCでは会員を募集中です。対象は小学校4年生～中学生。

練習は、月・水・金 STARLITEウィクトーリアスポーツパーク（吉田運動公園）で17:00～18:00
土曜日は吉田中学校グラウンドで9:00～11:00（個人の参加姿勢による）

- ・入会金は不要（※大会参加費、保険代は実費）
- ・見学や体験からでも可能です

お問合せ先 090-4107-3004（北村）